

DPCによる一日包括払いを始めて 見えてきたもの

近森病院院長 近森 正幸



DPC 制度に移行して

近森病院は 2 年前から DPC 調査協力病院であったが、今年 4 月からは DPC 対象病院となり、診療報酬の算定を DPC（診断群分類）による一日包括払いで行なうことになった。

薬や検査をすればするほど売上が上がったこれまでの「出来高払い」と違い、「包括払い」では薬を出さない、検査をしないとといった粗診、粗療が懸念されるが、当院のような急性期病院の場合は、患者さんを早く治して早く帰っていただくために、迅速で確実な診断、治療を行なうことが求められる。

DPC による物差し

DPC は客観的な評価の物差しになるので、これを使って全国の病院のなかで、たとえば近森病院の内科の心筋梗塞の治療成績はどのあたりの評価になるかが分るし、将来はその結果が公表される予定となっている。DPC 制度のもとでは、限りなく医療の質を高めながら同時にコスト管理を徹底しなければならない。

DPC においては「ICD10」という国際疾病分類によって世界共通の病名がつけられ、病名が標準化されることで、医療も標準化され質の向上につながっていく。

入院中いちばん医療資源を使った病名を基準として、包括払いによる無駄のない治療が行なわれ、それとともにクリニカルパスや学会のガイドラインなどにより、医療の標準化がさらに促進されることになる。

早く帰っていただくために

DPC の世界では、入院に至った病気の原因を早く診断して、根本治療を行ない、早く自宅に帰っていただくことが大事であるが、急速に進む高齢社会を迎え、更なる対応が求められる時代がきている。

高齢者は低栄養と、身体を動かさなければ機能が落ちる廃用が問題となるので、栄養サポートにより免疫機能を高め、感染症を防止し、長期入院の原因である種々の合併症を防ぐ必要がある。

また廃用に対してはリハビリテーションを積極的に行ない、自宅へ帰る際の障害となる日常生活動作の低下を改善する。これらにより、平均在院日数の短縮と、長期入院の原因を取り除くよう努力しなければならない。

最初が変わるのは高知市

今年中に全国で 360 病院 19 万床が DPC の対象病院になるが、この 4 月の診療報酬マイナス改定で、急性期病院は実質数パーセント下がることになり、出来高払いでは病院を維持できなくなってきている。あと 2、3 年ほどで、DPC 対象病院が増加して、急性期はすべて DPC に変わり、日本の急性期病床は 40 数万床になる時代を迎えようとしている。

高知県なかでも高知市は、人口当たりの病院、病床数が世界でいちばん多い。この世界一のベッドを維持できたのは、まさに出来高払いの医療制度といえる。今回の急性期における包括払いへの転換により、高知市は日本のなかで真っ先に変わらざるを得ないのではないだろうか。

● 6 月の歳時記 ●

ファレノプシス(胡蝶蘭)

画:土居満夫



胡蝶（蝶の異名）が群がって飛んでいるようだというイメージから胡蝶蘭とつけられています。温室栽培によりいつでも見られますが最盛期は 6 月です。格の高い洋蘭の中でも最高の品格でありブライダルブーケに最適で、私も父の育てた白い胡蝶蘭を友人にアレンジしてもらいウエディングベルを鳴らしました。

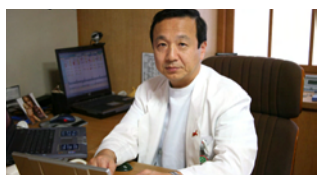
花言葉: 清純・幸福が飛んでくる・あなたを愛します♡

退院間近の患者様に(リハビリ目的で?) 挿絵をお願いしたところ、限られた材料で早く引き受けてくださり感謝いたします。後でわかったことですが、実はプロの腕前を持つ方でした。

文: 新 3 東病棟看護師長 川久保 和子

近森会の感染管理体制の改善への取り組み

—米国感染管理専門家による2回目のサーベイを受けて—



近森病院 副院長 北村 龍彦

Cure と Care の両面からのサービス提供

医療機関の使命のひとつに、病める患者さんに対して二次的な有害事象を発生させずに Cure と Care の両面から安全かつ質の高い医療サービスを提供するということがあります。その目的達成のためにいろんな観点から基盤整備が行われています。

平成2年、近森会の感染対策委員会、立ち上げ

感染管理の分野では、医師による正確な診断と適切な抗菌薬の選択、コメディカルとのチーム連携によりすばやく感染を制御することはもちろんですが、医療機関全体で取り組む感染管理体制の整備が不可欠です。

近森会の感染対策委員会でも平成2年の立ち上げから各種の活動・整備を行っていますが、まだ改善すべき課題が多く残っています。

平成17年、米国感染管理専門家による第三者の視点のサーベイ

ICT（インфекション・コントロール・チーム）による職場巡視を行い、各部署の未整備な部分の改善を図っていますが、自院のメンバーにとどまらず、昨年米国感染管理専門家による第三者の視点でサーベイを受け、多くの改善すべき点が指摘され、これを受けて改善に取り組みました。

本年3月、米国感染管理専門家による再度のサーベイを実施

1年間を経て、指摘事項の改善の程度の評価のために3月7・8日にかけて再度、近森病院のサーベイを行っていただきました。

サーベイヤーは APIC（感染管理専

門家協会）のメンバーのペンシルベニア大学の感染管理看護師の Cindy Hoegg さんとフィラデルフィア小児病院感染管理部門の検査技師長の Keith H. St.John さんの二人でした。前回の指摘されたりリコメンデーション（推奨事項）のチェックとともに近森病院の感染管理プログラムの組織やスタッフ、サーベイランスデータ、抗菌薬の使用と管理、スタッフへの教育、職業安全、ケア環境、各部門部署（透析室、手術室、薬局、細菌検査室、内視鏡室、集中治療棟をはじめ全病棟、ER）のファシリティーマネージメント（環境管理）など、結局病院すべてについてサーベイが行われました。

先日、詳細なレポートが届けられました。改善された事項と未整備な事項、更なるリコメンデーションなどの報告内容であり、感染管理の向



▲CCUなどの集中治療棟は、最も管理が行き届いている部門のひとつ



▲近森病院の前線基地であるER（救急センター）も良好な管理体制



▲2日間のサーベイを終え講評会の後で関係者全員の記念撮影（中央二人がサーベイヤー）

上に非常に意義のあるサーベイでした。このレポートを現場にフィードバックし、安全と質の向上のために更なる改善を続けていきたいと考えています。



最近いいことがない私です。占いは信じない方なのですが、有名な占い師の占いをみると“大殺界”。生活全般が真冬の曇り空の重くどんよりとして、いくら頑張ってもあなたの力ではどうにもならない事態が訪れそうです。……と書かれていました。やっぱりと思わざるを得ない出来事。

玄関前に置いて金網までして飼っていた金魚。夏祭りですくってきていつになく長生きをしてお腹も大きくなっていったのに近所の飼い猫に1匹残らず食べられてしまいました。

それから数日後、私のバッグの盗難事件。1年間の自分への頑張り賞プラス主人からのクリスマスプレゼントだった某ブランドのバッグと財布そして家の鍵、車の鍵、全てなくなっていました。おかげで家のドアの鍵も変え、免許証、カードの再発行、泣くにも泣けない出来事。それから数日後、今度は車に傷が……。

これでもかと思えるほど次から次にやってくる出来事。そして次は、とまだ続くのですが、今回はこの辺で終わろうと思います。いつかいいことがあることを信じて……。 （新館6階西病棟看護師長 尾知 美穂）



に、内科・中岡洋子 Dr の 「初発症状が診断にヒント」 の発表が掲載されました。

ークロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD)

自研 7 例からみた早期診断のヒントー

ヤコブ病は認知症が急速に進むのが特徴とされています。しかし、中岡先生は第 103 回日本内科学会で、

「認知症が急速に進むだけではない、例えば物忘れの他、パーキンソン症状、小脳失調症状、うつ状態などの初発症状が見られる場



合にもヤコブ病につながる可能性があり、経時的な脳波や MRI 検査を行なうことが早期診断に役立つ」と発表されました。

ヤコブ病は 100 万人に 1 人といわれるような珍しい病気とされていますが、中岡先生や山崎正博神経内科部長は近森病院において 1998 年 4 月から 2005 年 7 月までに経験した 7 例について頭部 MRI 画像所見などをもとに検討し、得られた成果です。

この結果発表が、国内最大最新の臨床医学新聞『Medical Tribune』に大きく採り上げられたというわけです。今後とも診療の充実に期待されます。



整形外科・西田一也部長

こんにちは整形外科の西田です。整形外科部長の任を拝命し身が引き締まる想いです。『近森会 50 年史』にはスポーツ外来を軌道に乗せることが当面の目標であるとの私のコメントが載っています。しかし、実際にはその仕事途中で色々の事情もあり外の病院に出て 4 年間主に地域の掛かりつけ医として仕事をしてきました。それ自体は患者さんと 1 対 1 で色々な相談に乗ったり健康管理をしたりと非常に大切に重要な仕事であり開業の先生方のご苦労がとてもよくわかりよかったですのですが、その一方でもう少しマンパワーがあったらもう少し設備が整っていたら……という思いがくすぶっていたのも事実です。そんな頃衣笠先生から、お誘いをいただきました。今包括医療制度 (DPC) も導入され医療がなかなか難しい時代になってきています。新人オリエンテーションの時、近森院長先生が言われたなかに、「DPC にとらわれすぎず患者さんのために最高の医療を提供するよう高い志を持って診療を行ってください」という言葉がありました。私の抱負、目標はまさにこれです。

西田部長、おかえりなさい♡

乞熱烈応援

「科長」に昇格しました。



内科・要致嘉科長

内科・要致嘉科長
「一言、最後に、妻に絶対」

「ひとの振り見て我が振り直せ」「有言実行、不言実行」「親の心子知らず」「子は親の背中を見て育つ」などなど、昔からいろんな故事がある。どれもこれも思いを伝えることの難しさを感じていっている。先日、我が家でもこんなやり取りがあった。「言った」「言わない」「言った」「言わない」「言った」挙げ句の果てに、「ノリちゃん、いくら『言った』と思ってても、それが相手

科長を拝命するにあたって、僕に何ができたのか。何をすべきかを考えてみた。これまた難しい。まずは近森病院というチームの中で、自分の思いを、またチーム一人一人の思いを、そして何より患者さん一人一人の気持ちに「伝えること」から始めること」から始めてみよう。最後に、妻に絶対」

に伝わってなければ、何の意味もないの!」と妻にやり込められてしまった。「言った」「言わない」は十年前に、僕が彼女にプロポーズしたかどうかである。トホホ……そんな大きなことを……

近森病院で仕事をさせていただくのは今回で 3 回目になります。過去 2 回は大学 (医局) のローテーションでしたが、今回は大学人事から離れての「就職」のつもりでいます。

過去 2 回と比べると、自分も随分変わった気がします。妻子はいるし、廿代橋を渡って夜の街に出かける機会も随分減りました。「科長」などというお役目もい

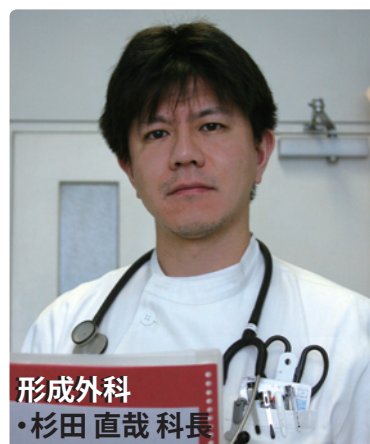
いただきました。でもいっばん考えていることは、自分が治療 (手術) した患者さんと長期間おつき合いできるということです。ローテーション時代は短ければ半年、長くても 2~3 年で病院を替わっていたので、患者さんの長期予後に関して把握できる機会は少なかったというのが正直なところ。これからが本当の勉強と思っています。



消化器外科・八木健科長

ジネディーヌ・ジダンが W 杯後の現役引退を表明した。母国フランス代表の試合が最後の戦いとなる。引退の理由は「ベストパフォーマンスを維持できなくなった」バロンドールの緩やかな終焉。同じ 1972 年生まれとして、W 杯での最後の輝きに期待したい。

この度、形成外科科長を拝命した。大学で研修、新宮と大阪で 5 年間勤務した後、近森病院に就職した。急性期の形成外科を志望していた私には、理想的な環境であった。高知で結婚し、娘も誕生した。今年で任期 4 年目、形成外科医としてのキャリアも 10 年になった。まだまだ発展途上ではあるが、自分なりのベストパフォーマンスを維持しながら、これからも日々の激務に励んでいきたいと思う。



形成外科・杉田直哉科長

乞熱烈応援 私たち「主任」に昇格しました。



医事課・市川久江

診療報酬改定、DPCの導入という節目の時期に、医事課入院担当の主任心得の辞令をいただき、身の引き締まる思いです。私のモットーは、職場のスタッフとふだん感じることや考えを互いに言い合える「天真爛漫な」間柄でありたい！ということです。その中で各スタッフがスムーズに業務を遂行できるように「潤滑油」の役割を果たしていければいいなと思っています。

また、仕事は「目的」を理解して取り組むことが大事だと思います。そのために、物事を伝える時にそのことを伝えようとすればするほど、つつい早い口になったり、声が大きくなったり、何度も繰り返したりしてしまいます。そのことで「ちょっと言い過ぎかな？」と反省することも多いのですが……。とはいっても、まだまだこれから私自身も努力していきますので、皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

かずさ
CCU・上総文子

CCUで自分に何が出来るのか？を自問自答しつつ、各スタッフに支えられながらの毎日です。少しでも患者さんや家族にいろいろな意味で「よかった」と思っただけであればと思っています。よりよい看護の提供を目指し、スタッフとともに

に取り組んでいければと考えています。

まだまだ未熟で、皆さんには何かと迷惑をおかけする事が多いとは思いますが、ご指導の程よろしくお願い致します。

リハ病院 3階西病棟 梅木まき

この4月からリハビリ病院はユニットマネージャー制となり、主任の役割が大きく責任の重さをひしひしと感じている毎日です。リハビリテーション看護に携わり、色々の経験も積んできました。その中で自分が信念を持ち続けなければよい看護はできないと感じています。患者さまの目線に立ち、よりよい看護を提供し、1日でも早く回復され自宅復帰、社会復帰が出来ますように最善の努力をしていきたいと思っています。そして、スタッフが働きやすいようにサポートしていきたいと思っています。まだまだ未熟ですが宜しくお願いいたします。



梅木主任

岡部主任

リハ病院 4階西病棟・岡部美枝

4月からの診療報酬改定をはじめ、医療界がきびしい状況におかれる中で、看護師として患者様・ご家族に対する、より質の高い看護の提供が求められています。このような情勢の中でも、リハビリテーション看護師として、患者様やご家族に関わることを出来る楽しさをスタッフのみなさんに伝えることが出来ることを目標に頑張っていきたいと思っています。まだまだ看護師としても未熟で、スタッフのみなさんの力をお借りすることも多いと思いますが、主任心得として、少しでも皆さんの力になれるよう試行錯誤を重ねながら頑張りますので、よろしくお願いします。

ICU・井上典子



近森病院へ就職し9年目の今年の4月1日より、主任心得の辞令をいただきました。今までは、ICUのスタッフの一人として実務にあたってきましたが、これからは病棟全体（患者様やご家族への配慮や接遇の向上やスタッフ・他種職との連携の充実など）のさまざまな課題について、積極的に取り組んでいかなければと考えたと重責を感じます。正直自分にできるのか不安でいっぱいですが、工藤師長・公文主任にご指導いただきながら、より良いチーム医療が提供できるようスタッフと共に努力していきたいと思っています。未熟者ですがよろしくお願い致します。

この4月に診療情報管理士の資格を取得しました(敬称略)

※ DPC 制度によってたいへん大きな役割を果たしてくれることと期待されます。

企画情報室

上田礼子 濱田亜矢子 宗石勘九郎



すでに

取得されている皆さん方(敬称略)

在宅総合ケアセンター
岡田和久

診療情報管理室
佐々木昭典 山本あけみ 大崎衣玲

医事課
乾美智子

宅間理佐

明神正典

高橋麻里

岡村美和



寺田文彦

谷口哲子

村戸佳奈子

武内香織

長尾美鈴

牛田知子

市川久江

小松真理

西知子

乾美智子

宅間理佐

明神正典

高橋麻里

岡村美和

乞熱烈応援 リハビリテーション部 作業療法科



横尾科長補佐

淡野科長

科長 淡野義長

縁は異なるものの味なものと申しますが、まさにご縁というのは不思議なものです。まったく考えていなかったところに、しかも役職として居る自分が未だに不思議でさえあります。

まだいろいろと慣れていないので要領は得ませんが、同時に様々な課題もみえてきました。まじめでよく働く者が多い職場ですが何かが足りません。その足りないものを補いつつも、専門職が陥る罠にかけられないように、常に内と外とそのバランスを意識し、作業療法科を近森会の一部門として恥ずかしくないよう発展させる必要があります。先代科長の築いてきたものを大切にしながらも、自分なりに鋭意努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

科長補佐 横尾 和之

これまでは徳島の作業療法士養成校で教育に携わっており、久しぶりの臨床現場での内容や言葉の理解に時間が

かかり、具体的な提案や建設的な意見を述べるどころではない状況が続いています。

自らの果たす役割がよく見えないま

ま、右往左往して時間を失ってしまわないよう、自分の役割を見極め、もう少し主体的に取り組めるようこれからの任に当たりたいと思います。



4月22日、23日の両日、春爛漫の土佐山で「いけばな凜」の第2回花展が開かれた。「凜」会員である近森会スタッフ19名も、稽古の成果の発表を楽しみに、山深い癒しの里でゆったりと時間の流れを満喫した。

▼自在な着想で、建物全体が見事な「いけばな凜」の作品のように見えたオーベルジュ前庭付近

▼一番左に作品説明中の平井凜節代表と右が作品



▼会場のオーベルジュ土佐山玄関のお迎え



大自然の中に作品が溶け込み、まるで自然と一体になるかのような心地よさを、ご来場のたくさんの皆さまに味わっていただけたようで、私ども一同も喜んでおります。

一心に花や緑に向かうと、日ごろの憂さも喧騒もスッパリ忘れます。第2と4の月曜、

18時から、月謝2,000円でお稽古しております。スタッフの皆さま、この機会にぜひ一緒にいかがでしょう！

(経理課 松田多津子)



リレーエッセイ

遅くても夏が来るまでには…

臨床工学部
臨床工学技士
藤本 のぞみ



今年の2月初めから運転免許をとり、中央自動車学校へ行き始めました。

家から近森病院まで原付で通っていますが、真冬の痛い寒さに耐えきれず、そろそろ車が欲しいなと思って免許をとり始めました。

入校初日に、私を含めて5人で模擬の運転席に座って運転操作をしながらシュミレーションをしますが、キーを回して、エンジンがかかったと思い、他の人が操作し終わるまで余裕で座って待っていると、「藤本

さん！藤本さん！エンジンがかかってないで！」と言われ、ハッと気づくと私一人だけエンジンがかかっていませんでした。はじめからこれでは免許取得にいくら(¥)かかるかと心配になりました。

休日や、仕事が終わってからなど時間がある時を利用して通い、何とか1カ月ちょっとで仮免に合格。あとは、本免に向かって必死にやっています。「遅くても夏が来るまでには…」との思いで免許取得を目指しています。

このエッセイが読まれている頃には、免許取得している予定です。P.S 誰か私に新車を下さい!(冗談です)

ハッスル研修医 第二部 vol.1

つま
ようじっ研修医
高矢 憲一

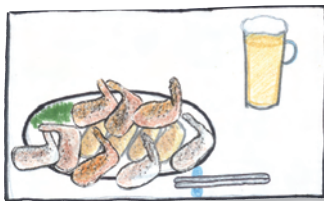
『ハッスル研修医』と題して、研修医を紹介するこのコーナーの二年目の先頭をきらしてもらいます。私はまず内科6カ月、外科3カ月、救急・麻酔科3カ月というプログラムでこの1年間研修を行います。

さて就職してもうすぐ1カ月が経とうとしています。入社式の後の2週間、私たち研修医は高知大学付属病院で県内の研修医仲間と1週間オリエンテーションをうけ、もう1週間は近森病院で現場の講義をうけました。この2週間はほぼ学生のノリで過ごしていましたが…実際病棟に出てみると仕事についていけません。ほとんど上の先生の金魚の糞です。体を動かして仕事を体で覚えていかないと駄目なのはわかっているんですけど、机にかじりついて勉強するクセが抜けません。

「君たちはつまようじだ。真剣でもない。木刀でも、竹刀でもない。つまようじ程度の力しか持っていないんだ」という院長先生の入社式での言葉を思い出します。今思うのは、私たちはつまようじ程の力もないんじゃないかということです。一日も早く仕事になれて、仕事を覚えて、つまようじくらいでいいから役に立ちたいと思います。目指せ!!つまようじっ!

続 管理部長のカンタンこだわり料理 16

鶏手羽先唐揚げ



画 前口由紀(援護寮まち)

ちょうど20年前に、今は親しくしていただいている医師を、着任早々歓迎の意味を込めて焼き鳥屋にお連れしたことを思い出す。

どういう訳か始終不機嫌なくらい寡黙であった。せっかく「美味しいものを!」というつもりで誘ったのに。当時はその不機嫌の理由が分からなかったが、今では周囲のほとんど全員が知っている。(鶏、大キライ!)

ということで、今回のレシピはその先生への当てつけではない!ということをもまずお断りしておきたい。

こんなものが料理かと言われるかも知れないが、これがまたカンタンで旨いものだからしょうがない。

〈作り方〉

① 鶏手羽先は裏側がピンクなほど新鮮だと思う②塩・コショウをする。コショウはアラ挽きのが望ましい③カタクリ粉をまぶして、弱火のサラダオイルに

投入。7, 8本1度に入れて中火で5~7分(極めて大雑把)④いったん油から揚げ、油を強火にしてもう一度投入。1分くらいで揚げる。この「強火の二度揚げ」が美味しさの秘訣だ⑤キッチンペーパーを敷いた皿に盛る。

〈食べ方〉

熱い料理の後の冷えたビールは美味。すぐさま手羽先にティッシュなどを巻いてカブリつく。

塩コショウ味のパリッとした食感に続いて柔らかかつジューシーなピンクの肉。唾液の大洪水に続いてもう一本。一息ついてビールをグビグビ。以後これの繰り返しとなる。もう上品にティッシュなんて巻いていられない。たまらない初夏の夕暮れ時である。

(追記) カキ醤油をちょっぴりたらしめておいしいし、酒は4分6の冷えた栗焼酎も good。今度白ワイン・ムルソーあたりで試してみよう。(川添 昇)

第32回 地域医療講演会

平成 18 年 6 月 23 日 (金) 午後 6 時~
近森病院管理棟 5 階会議室

講師 花崎 和弘 先生
高知大学医学部外科学 1 教授

第 4 回 公開県民講座

日時 平成 18 年 7 月 15 日 (土)

午後 2 時~ 4 時

会場 高知市文化プラザ
「かるぽーと」大ホール

入場無料

『身近な人がうつ病になったら?』

~特に働き盛りの
うつ病のリハビリについて~

「うつ病とはどんな病気だろう?」
~ほんとうにうつ病は心の風邪?~
近森病院第二分院精神科医師

渡邊真里子

「うつ病が治るとは、
ということなのだろう?」
~リハビリ・デイケア

「パティオ」の経験から~
近森病院第二分院副院長 宮崎洋一

問い合わせ

地域医療支援病院 近森病院

地域医療連携室 TEL.088-822-5231

このポーズ、見る人が見れば……



いまから

7~8 年程前、三重県鈴

鹿市で開催された日本放射線技師会主催の野球大会に四国地区代表として参加したときのものです。

地区代表というと格好のいいように思われますが、実は、四国の中では、他の3県が強く(経験者揃い)、高知県は一度も行ったことがありませんでした。それで……という訳です。しかも、集まったメンバーはいえ、経験者3名、素人5名、昔の野球少年2名で選手は10名、監督、マネージャー等を入れても総勢15名でした。

日程等の関係で、試合当日の朝に会場入り、さらに第一試合とハードスケジュールでした。で、対戦相手は優勝候補にもあげられている関西地区代表の京都でした。ご覧のように、投手としてマウンドに立って



いるわけですが、見る人が見れば「ど素人」と一目瞭然!でも、それなりに投球できました。

試合の方はというと意外と善戦!1回の表にエラー絡みで1点を失いましたが、6回まで0-1と緊迫した投手戦(?)を演じ、最終回も1アウトを取りましたが、その後2塁打を打たれ、緊張の糸が切れてしまい…交代後大量失点で大敗してしまいました。

試合には負けましたが、いい思い出になりました。現在でも、技師会や近森病院野球部の一員としてグラウンドで汗を流しています。(画像診断部 竹内 実)

仕事も趣味もいっしょ！ 料理が大好き

自分の大好きなことを仕事として一所懸命やれて周りにも喜ばれ、おまけに自分も楽しいのなら、これ以上のことはない。そんな毎日が送れている人は自分が幸せだから周りも幸せにできる。この成功哲学を地でいっているのが^{あけ}上田郁子さん、仕出し料理や出前弁当を扱って半世紀、「給食センター水産」の女将さんだ。子どもは高知医大在学中に亡くなった長男と近森病院薬局に勤務していた長女、現在近森会に勤めている次女の三人だが、企画情報室の上田^{ひろ}礼子さんの母上といった方が通りがいいかも知れない。

近森会では個人のお弁当以外にも新入職員研修などの大きい行事の仕出しなどでお馴染みの方も多だろう。全部のメニューにほのぼの手書きのカロリー計算が付いているから栄養面も安心だし、地産地消を何十年も続けておられるのも「まっことおいしい！」こと以外の、大きい「売り」となっている。

大阪生まれ大阪育ちの郁子さんの料理のルーツは、ご両親が勤めておられた関西一規模の大きい中央卸売り市場。ミカン箱にセリで零れた赤い魚を並べて遊んだ子ども時代の記憶が鮮明だ。

南国市で網元をされていた郁子さんの祖父が「海に棲むものは何でも美味しゅうのうてはいかん！」と命名された仕出し料理店「水産」の創業は、昭和20年代初頭、郁子さんのご両親が出身地の高知へ帰られた敗戦間もない頃。「日本の復興には味覚が大事、人は食文化を失うたらいかん」、ご両親のこんな言葉が今でも郁子さんの耳に残っ

▼「喜んでもらえてまた食べたい！と注文いただけるのがすごく嬉しい！儲けは二の次ですき！」（笑）



ているという。

土佐女子高校時代には水泳の選手でインターハイ3位に入ったし、キャプテンとして国体も経験した。合宿で厳しい練習に耐え、選手生活は勝ち続けるばかりではないから「挫折に打ち克つ心」も鍛えることができたと言います。郁子さんには密かな自負があるらしい。「まるで韓国ドラマみたいでしょ！」と笑いつつ、「最初はそんなに好きではなかった仕出しの仕事やったけど……」。高校2年のときにはすでに独りで皿鉢料理が準備できたそうだから、環境に天賦の才も加わった幸せを喜びたい。

仕出し料理「水産」は、美味しいものを食べたい人がいっぱい居て大繁盛。菜園場町のお店は400坪の料亭になり隆盛を極めたが、やがて時代はホテル披露宴へと変わり、ちょうどその頃父上が発病。お店の規模を細めることになった。挫折に打ち克つスゴ魂で、逆境も何のその！食文化を大事にしようと従業員さんとも力を合わせて頑張ってきた。

▼安芸市立歴史民俗資料館の企画展で2月25日からずっと展示されていた築120年の町の旧家・上田家に伝わる巨大なお雛さま



すでに30年以上も前、母上に身内の者が調理師免許を持ってないと！と勧められ郁子さんはすぐ取ったし、郁子さんの妹さんも栄養士である。

仕出し以外に給食を始めたきっかけは高知市内某グループの200食のお弁当が最初で、「広告はいっさいしない」が、実際にお弁当や皿鉢を食べた人からまた食べたいと再度の注文が入り、それがずうっとつながって今日に至る。大口の注文では大晦日やお正月、歓送迎会シーズンなど、家族も巻き込んでの一大イベント化しているらしいが、旦那さまだって、喜んでいきいき働く妻に文句のあろう筈がない。

通勤は自宅から給食センターのある桜井町まで旦那さまの送り迎えつき。5時40分起床で朝からモリモリ食べられるし、昼は11時30分には全部の配達を終え、12時からその日のお弁当を皆で試食しつつ、このメニューはあーだこーだと話しつつ、人気のないものは即やめ、喜ばれるものは種類を増やしと即断即決が強みでもある。こんなに喜ばれて注文が入るのなら規模ももっと大きくすればいいようなものだが、「この規模だから全部に目が届く」と、いかにも郁子さんらしいこだわりだ。

旦那さまは旧伊野町で築120年の歴史を誇る町屋造りの商家の当主で、紙問屋の主でもある。歴史的建造物を守っていくという使命もあり、上田家では皆それぞれが現在の身丈に合う、とても充実した日々を送っておられる。

4月の診療数

近森会 外来患者数	18,449 人
近森会新入院患者数	837 人
近森会 退院患者数	861 人
地域医療支援病院紹介率	88.13 %
近森病院平均在院日数	14.38 日
近森会 平均在院日数	21.64 日
近森病院救急車搬入件数	373 件
うち入院件数	185 件
手術件数	321 件
うち手術室実施	215 件
全身麻酔件数	115 件

企画情報室

図書室便り

(2006 年 4 月受入分)

・※あの子の詩、この子の詩 / 大歳昌彦 (編集)・大腸癌取扱い規約 2006 年 3 月 第 7 版 / 大腸癌研究会 (編集)・日本人の食事摂取基準完全ガイド 2005 年版 / 田中平三・食の授業をデザインする / 谷川彰英・村上祥子の「食べ力」3 分レッスン 勉強の前にまずごはん! / 村上祥子・APIC TEXT 感染制御と疫学 基本プログラム編 / 小林寛伊 (総監訳)・APIC TEXT 感染制御と疫学 臨床・サポートサービス部門編 / 森兼啓太 (総監訳)・APIC TEXT 感染制御と疫学 ケア環境編 / 大久保憲 (監訳)・パンツの中の健康 / 石蔵文信・尿の悩みを解決する本 / 本間之夫・トイレが近い人が読む本 頻尿の原因と治療 / 本間之夫・バイアグラ処方 of the 新しい展望 / 石井延久 (監修)・持続可能な医療保険制度をめざして / 医療経済研究機構 健康保険組合連合会 (編集)・第 36 回日本看護学会論文集 (看護管理) / (社) 日本看護協会 (編集)《別冊・増刊号》

・別冊 医学のあゆみ 消化器疾患— state of arts ver.3 (特). 消化管 (食道・胃・腸) / 市倉 隆 (他編集)・別冊 医学のあゆみ 輸液・栄養療法 EVIDENCE & CONTROVERSY / 雨海照祥 (編集)・別冊 整形外科 No.49 末梢神経障害の基礎と治療戦略 / 長野 昭 (編集)・臨床栄養 別冊 ニュートリション コーチング 自ら考え、決断し、行動を促すコミュニケーションスキル / 柳澤厚生 (他編著)・JJN スペシャル No.78 実践 リウマチ・膠原病のケア / 松浦美喜雄 (他編集)・外科治療 2006 増刊 外科救急処置アトラス / 中江晴彦 (他著)

《ビデオ・DVD》

・Audio-Visual Journal of JUA vol.12 No.2 / 日本泌尿器科学会 (企画・監修)

※あの子の詩、この子の詩

高知県には 30 年前から毎年刊行されているこども詩集『やまもも』があります。県内の小・中学校より寄せられた 7000 余点から優秀作品 300 余点を選ばれ掲載されています。子ども達の心の中を映し出した素晴らしい詩の中から更に 34 点を選び、エピソードやエッセイも交えて出来あがったのが『あの子の詩 この子の詩』です。著者の大歳昌彦様より寄贈いただきました。



楠瀬 真奈

くすのせ まな①循環器科医師②高知市③高知医科大学 (現・高知大学) ④特技と欠点はどこでも眠れることです。眠っていたら優しく起こしてください。寝起きはいいと思いますので。

編集室通信

▼ 4 月は大渡ダム湖畔の 3000 本のソメイヨシノを眺めながらドライブし、樹齢約 200 年といわれる「しだれ桜」を見ました。しだれ桜の真下から見上げた時の、頭上 360 度に満開の枝が広がっている様子は、圧巻であった。5 月の連休には、

大月町へ 5 万本のツツジを見に行った。公園の傾斜一面に咲き乱れる濃淡のツツジ、その鮮やかさにとても感動した。街の中の生活では、いつのまにか季節が変わる。時々足は伸ばして自然の中で四季を感じ、心に栄養を与えたい。もうすぐ紫陽花が咲き、ホタルが飛び交う季節になる。(リンダ)